

# 「科学のタネコンテスト」を開催しました！

令和2年8月26日（水）

探究研修部

このコンテストは、昨年12月より生徒各自が準備を進めてきたものです。本来であれば、3月上旬に近隣の中学生を「体験授業」の一環として招待し開催する予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルス感染防止のため「体験授業」と同時に「科学のタネコンテスト」も中止となっていました。

それから数か月、本日ようやく実施することができました。発表者は3年生6チーム11名です。16:30 完全下校のため、10分のプレゼンテーションは5分+質疑応答に縮小されましたが、より内容を精査し、本番に臨めたのではないかと思います。

審査員他、多くの教員や1, 2年生希望者の参加があり、3年生のプレゼンテーションに聞き入りました！



## タイムテーブル

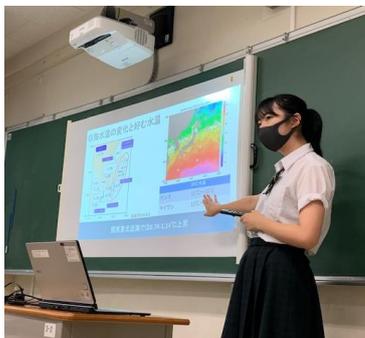
	発表テーマ
1	Web デザインとプログラミング
2	なぜハトは首を動かしながら歩くのか？
3	サンマのピンチを救え！イワシくん！
4	団扇で扇ぐ意味はあるのか？
5	リニアモーターカー作り
6	おいしい水とは？

## 評価項目

	評価項目
I	興味・関心のある事柄について、深く研究できているか。
II	研究成果を分かりやすく伝えられているか。
III	複数の信頼できる情報を参考文献として取り、実際に実験を繰り返しデータを収集することによって、比較や関連付けを行いながら、確かな根拠に基づいた研究活動を実施できているか。
IV	研究成果を元に今後の展望や可能性等を十分に考察できているか。

## 審査員コメントより抜粋

- ・参考文献が英語、すごいと思いました。
- ・ハトの模型が素晴らしい！
- ・プレゼンのイラストがわかりやすい！
- ・新型コロナウイルスの影響で最後まで実験ができず、残念でしたね。
- ・多摩地区と都区内での水の塩素量の比較、驚きました。 他多数



探究研修部 宇都宮 裕

普段は運動部や吹奏楽部等、自然科学系の部活以外で活躍してきた生徒たちが、日頃気になっていたことを本気で探究した結果を分かりやすく説明してくれました。今回彼らが撒いてくれた科学のタネを引き継ぎ、より魅力的な花を咲かせるような後輩が出てきて欲しいと願っています。